

埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network
埼玉グリーン購入ネットワークニュース
第4号 2010年2月

—環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める首都圏初の地域ネットワーク—

埼玉 GPN NEWS 2010.02



グリーンサロンで講演する山本教授

CONTENTS

- 埼玉県第3回環境ビジネスセミナー 1
(グリーンサロン)
- 大宮アルディージャ渡辺代表インタビュー 2
「明日のために、今日できること」
- エネルギーをつかう家から、つくる家へ 3
おそろべし、エコピープル!
- 蛍光灯の工夫だけでも大きな省エネ 4
みんなでつくろうおひさま発電所
会員一覧

エコプロダクツを普及させよう!! 第3回グリーンサロン

埼玉県第3回環境ビジネスセミナー(グリーンサロン)が埼玉県新都心ビジネス交流プラザで開かれました。

環境ビジネスセミナーは埼玉GPNも実行委員会のメンバーとなり、今年度より埼玉県等と一緒に環境ビジネスの普及のために開催しています。

今回、基調講演には、東京大学生産技術研究所教授で元グリーン購入ネットワーク会長の山本良一氏が『グリーン購入温室効果ガス25%削減への挑戦』というテーマでお話されました。(詳細は下記)

イオン(株)環境アドバイザーボード委員上山静一氏が「イオン温暖化防止宣言」での主な取り組みについて、マルキユー(株)取締役企画部長大石哲夫氏が釣りエサ及びソフトワームの環境に配慮した商品開発について事例発表を行いました。セミナー終了後交流会が開かれ、参加者同士の懇親を深めました。

残された時間は20年

アフリカのチャド湖の90%縮小、中央アジアのアラル海の80%縮小、キリマンジャロの氷河が2022年に消滅、グリーンランドの氷床の年間消失量2700億トン、2015年までに夏の北極海水は消滅、海洋酸性化、アマゾン

熱帯雨林の枯死、日本ではオホーツク海の流水が激減などの現象は、温暖化に対して警告という段階を超えています。残された時間は自然科学的のいうと20年です。環境難民が2~7億人になるだろうと言われています。

2年前から急速に世界は低炭素経済に向けて動き始めています。世界の115カ国が2℃以下に抑制することを求めています。ノルウェー、スイス、コスタリカ、モルディブは、カーボンニュートラルを目指しています。スイスではマッターホルンが崩壊し始めており、その危機感から20年後にカーボンニュートラルを目指しているのでしょう。2℃突破は、早くも2032年5月12日です。2℃は、グリーンランド氷床、北極海氷のティッピングポイントです。これを超えるとドミノ現象が起こります。2005年までの温室効果ガスの累積排出量だけで地球の温度は2.4℃上昇する可能性があります。中国とインドが大気汚染の改善と同時に温室効果ガスの削減をやらないと大変なことになります。

グリーンな産業を全速力で育てる

気候安定化には排出量をほとんどゼロにする必要があります。あと100年でゼロにしなければなりません。再生エネルギーの発電量を2005年18.2%を2030年には40.2%まで上げて行くような激しい施策を打てば気温上昇は助かります。全世界がグリーンな産業を全速力で育てていく必要があります。2014年までに始めなければ間に合いません。

2℃/450ppmシナリオの実現のためのキーワードが、エコプロダクツとグリーン購入です。身近なところから始める、そしてエコ製品が普及するための制度設計が必要です。日本はその制度設計で後れをとっています。ヨーロッパは徹底的にやっています。環境税をまず導入しなければいけません。入れなければ環境に配慮した製品を積極的に買おうという機運が高まりません。

今後、日本のエコ技術をアジア各国に広めていくような、ウィンウィンの関係を作ることです。

“明日のために、今日できること” 大宮アルディージャ

今回は、昨年「さいたま環境賞」を受賞された大宮アルディージャ渡辺代表を訪問しました。聞き手は秋元事務局長です。

地域に根差した環境活動とは？

2007年7月に「エコクラブ宣言」をしました。今までやっていたこと、これからやること7つの項目に整理し宣言しています。

ホームタウンクリーン作戦（街の美化活動）は2004年から行っていました。100回を超えたころから地元の方やメディアから注目を浴びるようになり、サポーターの方、商店街の方々、区の方々などが参加し、今は130回を超えています。

ペットボトルキャップ回収運動（途上国の子どもたちにワクチンを届けようという運動）では、サポーターの方々が私たちの事務所やスタジアムに集めたキャップを届け、今年はずでに100万個を超えています。

ナイターの時には太陽光発電の電気（グリーン電力証書）を買っています。今年は5試合で1万kw、CO2削減効果は3390kgです。

見沼の合併記念公園周辺では自然観察教室を行っています

10月17日埼玉スタジアム開催の川崎戦を「エコマッチデー」として、お客様に、太陽光発電の仕組みの紹介、そして新聞紙を使つてのエコバック作りやペットボトルでメガホン作りなどを通じてのリサイクル・リユースの体験をしていただきました。

これらの活動が評価され、第10回さいたま環境賞を受賞しました。

事業活動とCSR活動の兼ね合いは？

地域あつての事業ですから、CSR活動は事業活動の一部と考えています。しかし、出来る範囲がありますから、その点を考え継続出来るものを実施しています。小さなことでも1万人2万人になると大きなパワーになります。スタジアムにキャップを入れた大きな袋を持って来られるサポーターの姿を見ると感動します。



渡辺代表と秋元事務局長

「エコクラブ」「オフィシャルエコパートナー」とは？

「エコクラブ宣言」をして「明日のために、今日できること」というスローガンのもとに活動をおこなっているのが「エコクラブ」です。

エコ活動を行っていくうえで資金面を支えているのが「オフィシャルエコパートナー」です。一口10万円、現在13社です。バイオマスのゴミ袋を提供してくれている企業もあります。先日意見交換会を催し、実際の現場を見ていただきました。

スタジアムから出るゴミについても再資源化出来るものは売るようにしています。分別が進み、再資源化率は昨年より今年の方が上がっています。

生ごみのたい肥化への活動も行っていますがそれもおカネがかかります。「オフィシャルエコパートナー」が重要になってきます。

エコ活動を進めて行く上での悩みは？

ゴミの分別指導を行うボランティアさんが足りません。スタジアムに9か所あります。大学の環境サークルや年配者でお手伝いできる方がいらっしやると有難いです。

今後の取り組みは？

来シーズンは、「遊ぶ・学ぶ・行動する」というテーマで進めて行こうと考えています。自然と遊ぶ、スタジアムで遊ぶ、自然や環境について学ぶ、自然や人とのコミュニケーションづくり、出来ることからやる、など進めて行きます。

スタジアムでは、ゴミの分別、リユースのコップ（タンブラー）、マイバッグなどをさらに広めて行こうと考えています。

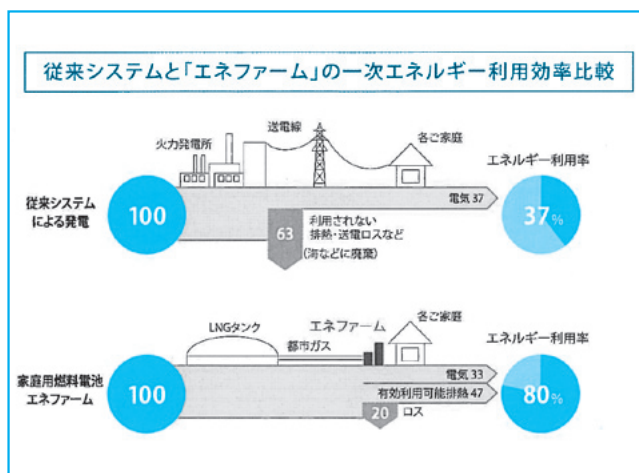
エネルギーをつかう家から、つくる家へ
 ~家庭用燃料電池 エネファームへ~
 東京ガス(株)埼玉支店

「おそろべし、エコピープル！」
 グリーン購入活動の担い手に！

①なんと！CO2排出量を45%も削減可能

2009年5月から発売を開始した、家庭用燃料電池「エネファーム」は、発電の革命と言える優れたものです。エネファームは「分散型(需要側)発電」として皆様のご家庭で発電を行い、これまで廃棄されていた廃熱を有効利用することで、エネルギーの総合効率を2倍以上に高めることが出来る画期的システムです。

このシステムを各ご家庭に設置することにより、従来システムとの比較で約45%ものCO2削減(当社試算)が可能で、CO2換算重量約1.5t/年となり、2010年1月に政府がスタートした「チャレンジ25キャンペーン」に対しても大きな貢献が可能です。



②世界初の先進的家庭用発電システムです

鳩山政権が掲げるCO2削減目標(2020年に90年比で25%削減)を達成するには、増加著しい家庭用部門での低炭素化への取り組みが重要課題となります。このシステムにはご承知の通り、都市ガス等の化石燃料から水素を抽出し、空気中の酸素と化学反応させることにより約1kwの電気を発生させ、その時生ずる約70℃の排熱を熱交換し、温水として利用するシステムで総合効率は80%となります。エネルギーを無駄にしない環境にやさしいシステムです。

2009年5月からの発売に合わせて、国もこの優れた環境性に注目し、導入支援のための補助金(平成21年度上限額140万円/台)をスタートしています。

エネファーム・補助金、詳細は、
 ⇒ www.tg-enefarm.com

2006年度から始まった「環境社会検定試験®;eco検定」は東京商工会議所が主催し、2009年12月までに7回の試験が行われました。第1回の時には受験者が1万5千人を数え、これまでの検定試験の第1回目の受験者数としてはダントツだそうです。その後、環境への関心が高まるにつれて、今日では「最も受たい検定試験」の「トップ」の人気とか・・・。21年末に行われた第7回の検定試験では、受験者実数が3万4千人超とこれまでの最高水準で、2月の発表時の合格者数が気に懸かりますが、仮に、今回の合格率が80%ですと、合格者の合計数が10万人を越えることとなります。ただし気になるのが、合格者(エコピープル)に地域的な偏りがあることです。第6回目までのエコピープルの分布を見てみましょう。

合格者数地域分布図	北海道	東北	関東	北陸・甲信	東海・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
合格者数	1,598	2,655	35,290	3,244	6,943	11,529	4,768	4,178	70,185
構成比	2.3%	3.8%	50.3%	4.6%	9.9%	16.4%	6.8%	5.9%	100%

エコピープルは合格後には専門部門別にスキルアップコースで研修をすることになっており、その一つに「グリーン購入コース」があります。このコースは、我が[GPN]が担当することでスタートしていますが、上表のような分布ですと、企画するとき地域分布を考慮しないと、参加者数を募るのに苦労する場合があります。なお、エコ検定テキストでは、グリーン購入ネットワークについて次のように解説があり、合格者にはGPNによる研修講座に高い関心があります。

“1996年、環境庁などの呼びかけでグリーン購入の促進と情報提供を目的に設立された。主な活動は、購入ガイドライン策定、商品の環境データブック作成、普及啓発、表彰制度等。現在、企業、地方自治体、NGOなど約2,800の組織会員をもつ。このほかでは、「グリーン購入法」「地方自治体の実施状況」「グリーン調達」「複合材料」「森林認証」「生分解性プラスチック」なども解説しています。(運営委員上田隆一)

蛍光灯の工夫だけでも大きな省エネ 省エネ型・高周波蛍光灯“ECO1”

オフィスの天井には、富士山を逆さにした形状の「逆富士」と呼ばれる2灯式の蛍光灯が主流です。その器具には鉄心に銅コイルを巻いた安定器が使われています。安定器の寿命は日本照明工業会によれば8年とされていますが、ほとんどのオフィスではそれ以上、ことによると2倍以上の年数が経過しているものが見受けられます。耐用年数を過ぎると、熱による電力ロスが多くなり、最悪の場合には安定器が発火する危険性もあります。LED等の新しい照明器具はまだまだ費用もかかりますので、安定器を新しくすることで解決することができます。



ただ、どうせ替えるなら、銅鉄製ではなく電子式、いわゆるインバーター方式に替えた方が、効率も良くなりますし、消費電力も下がります。更に高効率のHf蛍光管に替えて、反射率の高い反射板を使うと、蛍光管が2本も要らないほどです。これなら1本の蛍光管でも十分だというわけで、生まれたのが高周波蛍光灯“ECO1”です。既存器具の撤去跡を隠す設計にもなっています。

耳を澄ますとブーンという音が天井の蛍光灯から聞こえてきませんか。

お問い合わせは、(株)エンライト TEL 048-647-6443

みんなてつろうお日さま発電所 お日さまパワーゼンかい！ あつまれ与野ひなどり保育園へ

特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

お日さまクラブプロジェクト

自然エネルギーの中でも、特に太陽の光を利用したエネルギー利用を推進する活動を始めました。

多くの市民の皆さまが共同で太陽光発電を設置することで、市民参加型の太陽光発電所を作りたいと考えています。まずは埼玉県内初の1号機設置に向けて、皆さまの寄付、あるいは啓発活動への参加などのご協力をお願いします。

設置後は、設備を利用し保育園や地域と一緒に環境学習を進めていく予定です。

設置場所 与野ひなどり保育園
内 容 太陽光発電装置 (3.5kW 規模)
寄付金額 一口2千円 (何口でも歓迎)
法人は5口以上お願いします。

寄付目標 120万円
納入先 環境ネットワーク埼玉お日さまクラブ
郵便口座 00100-9-472708
振込手数料をご負担ください。

お問合せ TEL 048-749-1217
(特非) 環境ネットワーク埼玉
URL <http://www.kannet-sai.org/>

埼玉GPN会員一覧

115 団体 (2010/1/1 現在) 行政 10、団体 10、企業 95

■行政 埼玉県、入間市、さいたま市、春日部市、所沢市、日高市、川越市、久喜市、川口市、戸田市

■団体 生活協同組合さいたまコープ、生活協同組合ドゥコープ、(特非) EE ハーモニー、埼玉県商工会連合会、(財)さいたま市産業創造財団、(財)埼玉県中小企業振興公社、埼玉中小企業家同友会、さいたま商工会議所、埼玉県中小企業団体中央会、(財)埼玉県公園緑地協会

■企業 (株)アートドットコム、(有)アオキ企画、(株)アクセル、アピカ(株)、(株)アライ、(株)アルク設計事務所、(株)イーシティ埼玉、石坂産業(株)、(株)ウイロウベル、(株)氏家製作所、浦和レッドダイヤモンズ、(株)イー・シー・エス、(株)エコ環境システム、(株)エヌ・ティ・ティ・クオリス、(株)FM NACK 5、(株)エプセル、(株)エンライト、(株)大越製作所、大宮アルディージャ、柏木建設(株)、(株)関東パイプ技研、(医)誠昇会北本共済病院、(株)国太楼、クリーンシステム(株)、計測サービス(株)、ケミテックシー・エス・エス(株)、(株)甲商、国際チャート(株)、コクヨ東京(株)埼玉支店、(株)小山本家酒造、(株)サイサン、埼玉縣信用金庫、(株)埼玉交通、(株)埼玉新聞社、(株)埼玉ディエスジャパン、埼玉トヨペット(株)、埼玉日産自動車(株)、社会福祉法人埼玉福祉会、(株)埼玉りそな銀行、サンケイ鋼器(株)、(株)シール堂印刷埼玉事業所、(株)JTB 関東、(株)ジャスト、(株)ジャパンアート、(株)松柳園、新日本有限責任監査法人さいたま事務所、(株)鈴や商事、大成ロテック(株)、(株)大和ライト工業、(有)タカザワ企画、(株)タカヤマ、武正(株)、(株)デサン、(株)テレビ埼玉ミュージック、東京ガス(株)埼玉支店、(株)東京化成製作所、日本地工(株)、(株)ハイクレー、(株)ハイディ日高、(有)パル、飯能ケーブルテレビ(株)、(株)ピージーサービス、(株)ピージーシステム、(株)ピックルスコオペレーション、(株)ビルテクノマイニチ、(株)ビルヒット、フォーレスト(株)、(株)ぶぎん地域経済研究所、富士商工マシナリー(株)、富士ゼロックス(株)岩槻事業所、富士ゼロックス埼玉(株)、武州ガス(株)、武州産業(株)、(株)古田設計、(株)ベルエール、北海製罐(株)、ポラス(株)、毎日興業(株)、(株)松永建設、(株)マツハ、マルキュー(株)、三国コカ・コーラボトリング(株)、溝口洋紙(株)、(株)武蔵野銀行、(株)メガ・ネットワーク、望月印刷(株)、(株)ヤオコー、(株)八洲電業社、(株)ユーパーツ、(株)与野フードセンター、リコー販売(株)埼玉支社、リコーリース(株)関東支社、りそな総合研究所(株)、税理士法人レッドサポート、(株)ワーム

■入会案内

団体会員、サポーター(個人会員)があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。

■発行： 埼玉グリーン購入ネットワーク

〒337-0053 さいたま市見沼区大和田町 2-1322-2 大和田 NPO ブラザ内
TEL.048-749-1217 / FAX.048-749-1218

E-mail saitamagnp@yahoo.co.jp

Home Page <http://www.saitamagnp.jp/>